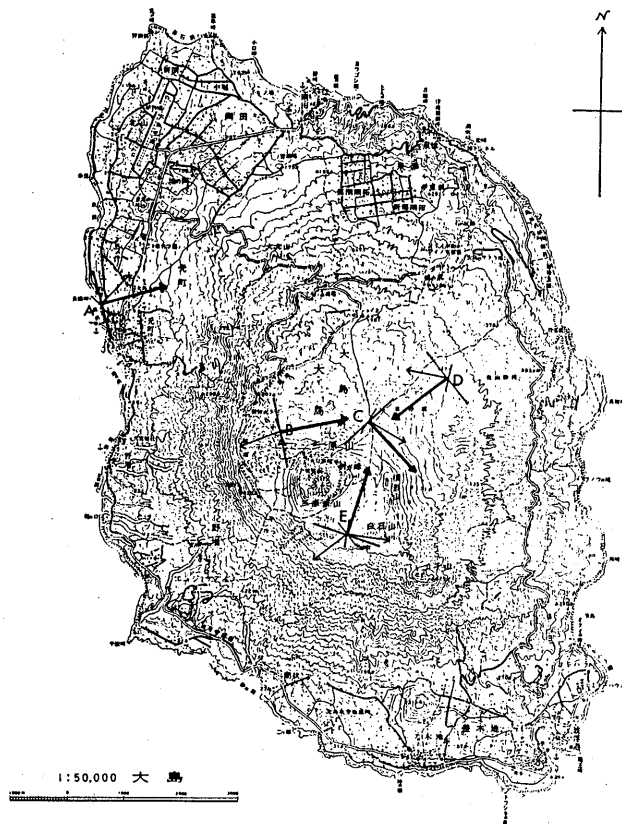


伊豆大島におけるドライテイルト観測

工業技術院地質調査所*

地質調査所では、毎年2月に行っているドライテイルト観測に加えて、本年9月初旬(4日~10日)に臨時に全観測網の観測を行った。また、10月2~3日に、各観測網の1~2測線についての水準観測を行った。

9月に実施したドライテイルト観測の結果を第1図、第2図及び第3図に示す。何れの観測網においても、85-86に比べて、86(2月に実施)-86Septは異なった方向に傾斜変動があったことを示している。

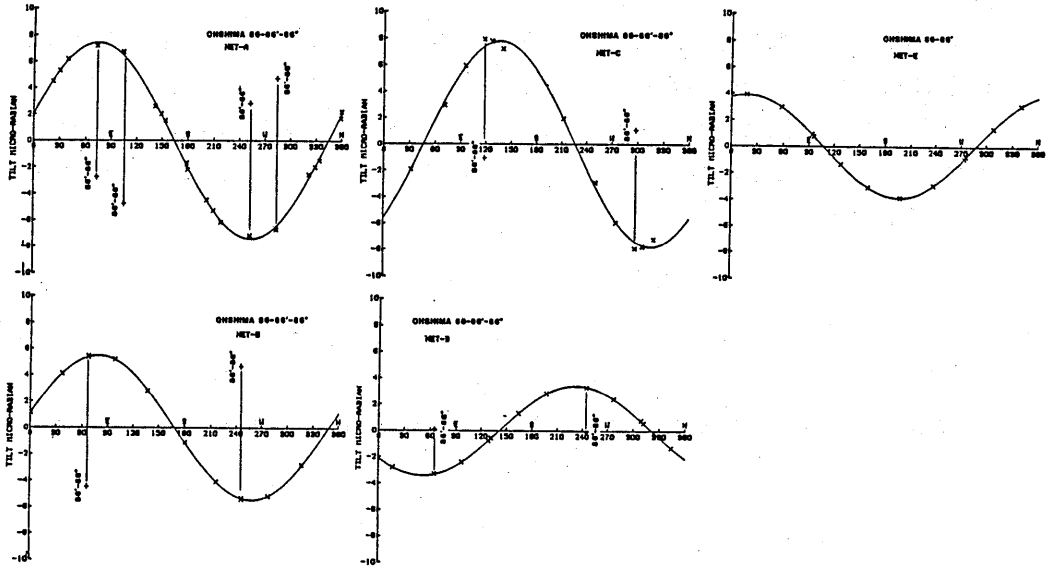


第1図 観測網の位置および各観測網における最大傾斜 (down tilting) 方向
細・短矢印は、85-86、太・長矢印は、86-86Sept.

Fig. 1 Location of survey nets. Thick arrow indicates azimuth of the maximum down tilting during Sept. 1986 and Feb. 1986 and thin arrow indicates that during Feb. 1986 and Feb. 1985.

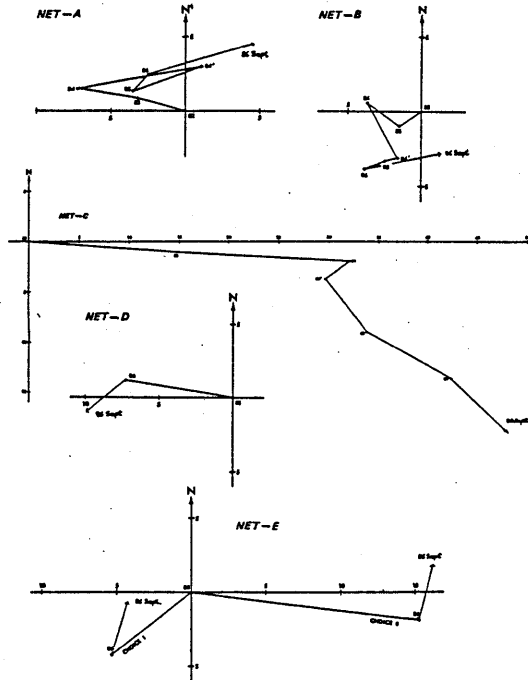
Received Jan. 28, 1987.

* 衣笠善博・斎藤英二・渡辺和明・宮崎純一



第2図 各観測網における傾斜変動
down tiltingをプラスして示す。
+ : 10月の観測値

Fig. 2 Tilt (down tilt) vs. azimuth and best fit sinusoidal curve at A through E. + : Tilt measured during Sept.86 and Oct.86.



第3図 各観測網における最大傾斜方位と変動量の変化

Fig. 3 Vector diagrams of tilt at net A through E.

第1図には最大傾斜 (down tilting) の方向のみを示してあるが、B,D,E 網の傾斜がC網の位置近くに向かっているように見えるのが注目される。

10月に実施した各観測網の1～2測線についての水準観測の結果を第2図に+印 (86'-86") で示した。D網では、変化が認められなかったが、A,B,C網では、9月の結果と異なった傾斜方向を示すような結果を得た。

参 考 文 献

地質調査所 (1986) : 伊豆大島火山におけるドライティルト観測、噴火予知連会報、37、3-5。